

■ ファシズムとの闘い、統一戦線の裏側、そして共産主義の激動の時代を記録

イギリス共産主義による扇動と国内政治

- H・ポリット関連文書コレクション -

Agitation and the Internal Politics of British Communism, 1907-1977

イギリス共産主義の扇動の最前線に立ったH・ポリットの活動を探る

本コレクションは、イギリス共産主義の巨星の一人であるハリー・ポリットの個人文書を基に編纂されています。1890年に生まれたポリットは、貧困によって家族が苦しむ姿を目の当たりにし、共産主義に傾倒しました。1920年にはイギリス共産党（CPGB）の創設メンバーとなり、1929年には重要な役職である書記長に就任しました。

CPGBの指導者としての彼の役割は、スターリンおよびソビエト連邦への揺るぎない支持、そして第二次世界大戦前後のCPGBの影響力と大衆的支持が最も高まった時期の指揮を執ったことによって記憶されています。したがって、本コレクションはポリットの個人的・政治的思想、そしてCPGBの指導者としての複雑な駆け引きを生々しく描き出しています。



注記：本コレクションにはマンチェスター大学の Kevin Morgan 教授による3本の背景解説エッセイが付属しています。



大学・学術機関向け価格

| FTE (学生数+教職員数) | 3,000~4,999 | 5,000~9,999 | 10,000~19,999 | 20,000~29,999 | 30,001 以上 |
|----------------|-------------------|-------------|---------------|---------------|-----------|
| Archive 買い切り価格 | 価格は弊社までお問い合わせください | | | | |

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費(Annual Hosting Fee)は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**





ハリー・ポリットは、精力的な共産主義活動家であり、イギリス共産党（CPGB）の最も著名な指導者でした。本コレクションに収められた膨大な資料は、彼の広範な活動と、労働運動および共産党への献身を反映していません。

ポリットは若い頃、ボイラー製造工や金属加工職人として働き、これらの職業を通じて労働組合運動に深く関わるようになりました。本コレクションからもわかるように、彼はボイラー製造工組合の活動家および役員を務めた後、「National Minority Movement」の全国書記に就任しました。

ポリットは 1920 年に CPGB の創設メンバーとして参加し、1929 年には書記長となり、1930 年代半ばまでには事実上の党の指導者としての地位を確立しました。彼は、1930 年代に大陸ヨーロッパでファシズムが台頭する中、労働運動の他の組織と「統一戦線」を築こうとする CPGB の取り組みの中心人物でしたが、それ以前にはスターリンの指示のもと、社会民主主義組織との非協力を主張していました。

第二次世界大戦後、ポリット率いる CPGB はかつてない人気を獲得し、それを選挙での成功につなげようと試みました。ポリットは何度も国会議員選挙に立候補し、その試みの記録は本コレクションに収められています。

晩年のポリットは、世界各地で講演ツアーを行いました。この頃には、彼はイギリス国内のみならず国際的にも共産主義の巨星と見なされていました。本コレクションには、彼がインド、中国、オーストラリア、ニュージーランドを訪れた際の記録も含まれています。

■ 膨大な文書群を全 53 パートに整理したアーカイブ

1. Pollitt's miscellaneous personalia, 1907-1959

イギリス共産党の会員証のコレクションをはじめ、その他の組織に関連する様々な資料を収録。これには労働党の日記、United Society of Boilermakers の資料、そしてポリットの幼少期の教育証明書が収録。

2. Miscellaneous historical definitions and writings, circa. 1910s

国家、アナキズム、「The Joy of Youth」、統治、文明、政治権力など、歴史および同時代のテーマに関する雑多な著作の小規模なコレクション。印刷物と手書きのメモが収録。

3. Notebook on international politics from a Marxist perspective, circa. 1920s

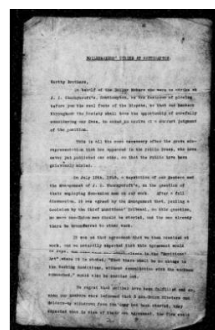
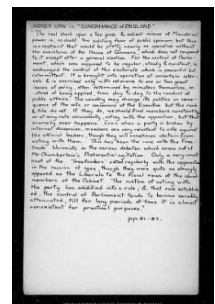
政治と歴史に関する幅広いテーマをマルクス主義の視点からまとめたノート。イギリスの労働運動、世界の植民地支配、資本主義などのテーマを扱い、それぞれ簡潔な情報が記載されており、演説用のメモのような形式。

4. Material from the British Socialist Party, 1909-1913

ハリー・ポリットがイギリス社会党のメンバーだった時期の資料。

5. The Southampton Boilermakers Strike, 1915

ポリットは若い頃、ボイラー製造工として働き、労働組合活動に関与していました。本パートには、1915 年のサウサンプトンのボイラー製造工・ストライキにポリットが関わった際の資料が収録。



6. Material regarding the Russian Revolution, 1918-1920

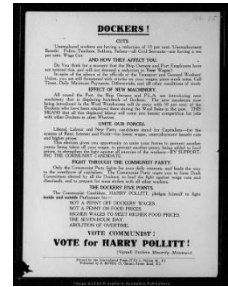
ポリットは「Hands Off Russia」キャンペーンに深く関与し、1917年の革命をめぐる西側諸国の干渉に抗議しました。

7. Boilermakers, Iron and Steel Ship Builders Society, 1921-1929

ポリットが所属していた Boilermakers, Iron, and Steel Ship Builders Society に関する資料。

8. The National Minority Movement, 1910-1926

National Minority Movement は、1920年代にイギリス共産党(CPGB)が主導した取り組みで、労働組合運動のより急進的な側面を組織化することを目的としていました。ポリットは1924年から1929年まで本運動の書記長を務めました。

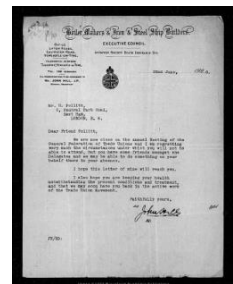


9. Miscellaneous papers from Wandsworth Prison and on Leopold Amery, 1926-1945

ポリットがワンズワース刑務所に収監されていた際の獄中ノートのほか、1945年の再選を目指した保守党政治家 Leopold Amery に関する資料を収録。

10. The Dawdon Lock-Out, 1929

この労働争議では、ドーダンの炭鉱労働者が出来高払い制度をめぐる対立によりロックアウトされました。この争議は7か月続き、最終的に炭鉱労働者は不本意ながら復帰することとなりました。

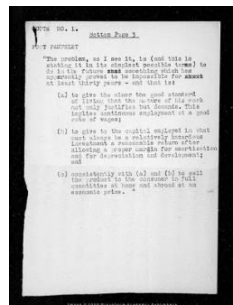


11. Strike material from industrial action in Lancashire, 1932

1932年にランカシャーで発生した労働争議に関連する雑多な資料。

12. Pollitt during the Spanish Civil War, 1936-1940s

イギリス共産党(CPGB)はスペイン内戦中、スペイン共和国への支援を積極的に呼びかけました。書記長として活動していたポリットは、国際旅団を訪問し、士気を高めるために5回スペインを訪問しました。



13. Pollitt's accounts of the Second World War, 1939-1959

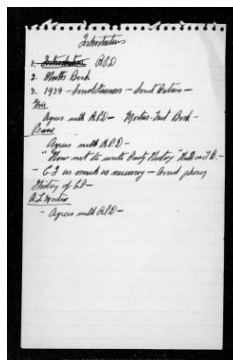
ポリットの視点から見た第二次世界大戦の勃発に関する2つの文書。これには、1939年のスターリンとヒトラーの協定を支持せざるを得なかった共産党内部の難しい政治状況や、戦争初期のポリットの回想録が含まれています。

14. Material on the British coal mining industry, 1944

イギリスの石炭採掘産業に関連する各種資料。

15. The Party History Commission, 1956-1958

Party History Commission は、イギリス共産党(CPGB)の公式な歴史を編纂する可能性を調査するために設立された組織でした。任務の長期化と困難さにより、最終的に委員会は解散され、James Klugman が個人で歴史を執筆することに指名されました。



16. Correspondence with Palme Dutt during the Third Period, 1928-1932

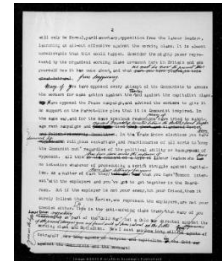
Palme Dutt はイギリス共産党(CPGB)の高官で、彼とポリットは長年にわたり密接に協力し、CPGBの最も成功した時期を主導しました。ポリットとDuttの書簡には、CPGBの初期の活動や内部の対立、さらには「第三期」に関する詳細な議論や関連報告が含まれています。「第三期」とは、スターリンおよびコミンテルンが共産主義者と社会民主主義者の非協力政策を掲げ、完全な階級革命を追求した時代を指します。

17. Correspondence with Salme Dutt, 1939

Salme Dutt は共産主義活動家・作家であり、Palme Dutt の妻でした。本パートは彼女との書簡を収録。

18. Correspondence with William Gallacher, 1951-1957

William Gallacher, は労働組合活動家であり、共産主義政治家として 1950 年まで東ファイフ選挙区を代表していました。本パートは彼との書簡を収録。



19. Pollitt's correspondence during his time in Moscow, 1954-1957

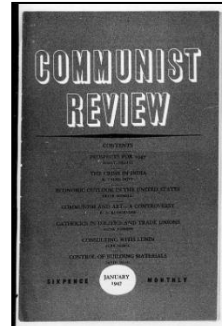
ソビエト連邦で医療治療を受けていた期間のポリットの往復書簡。

20. Correspondence with friends, family, and communist activists, 1915-1959

ポリットが友人、家族、同僚と交わした書簡のコレクション。彼の初期のキャリアから亡くなる前年までの書簡を収録。

21. Pollitt on the world stage, 1945-1960

晩年のポリットは、イギリス共産党 (CPGB) の国際的な顔として活動し、世界各地の共産党の会議やイベントに出席。



22. Research material collected by Pollitt for publications and speeches, 1920-1960

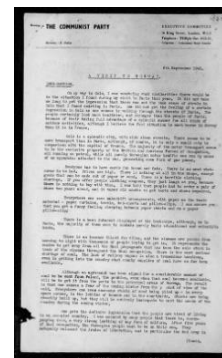
ポリットが生涯を通じて執筆や演説のために収集した膨大な研究資料を収録。

23. Material from the Executive Committee, 1943-1960

ポリットが在籍したイギリス共産党 (CPGB) の執行委員会に関連する資料。執行委員会は党の最高意思決定機関でした。

24. Material related to Communist Party Congresses, 1945-1956

戦後に開催されたイギリス共産党 (CPGB) の 2 つの党大会 (1945 年・1956 年) に関する資料。



25. Material on the relationship between the Communist Party and Catholicism, 1947-1948

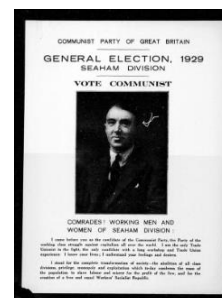
伝統的に敵対関係にあった共産党とカトリック教会の関係を考察する資料を収録。

26. Material from the Left Book Club, 1941-1942

Left Book Club は全国的な組織で、会員に毎月左派の書籍を提供し、最盛期には会員数が 57,000 人を超えていました。本パートにはその活動に関する資料を収録。

27. Pollitt on the election campaign trail, 1929-1955

ポリットの各種選挙運動における活動を記録した資料。彼が書記長として活動を始めた初期の頃から、戦後の有力候補として立候補した時期までの選挙キャンペーンに関する文書を収録。

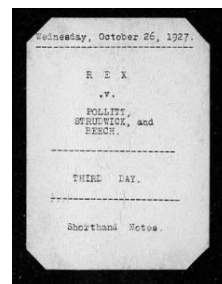


28. Material from the William Gee appeal fund, 1941-1952

ポリットは、社会主義運動のベテラン活動家 William Gee の晩年を支援するため、William Gee 支援基金を設立しました。Gee はポリットの若い頃の憧れの人物であり、ポリットは彼の老後の生活を支えたいと考えました。1940 年代には、ポリットはイギリス共産党 (CPGB) の党員や労働運動の仲間呼びかけ、クリスマス基金を募り、Gee の年金を補助するための資金を集めました。

29. Legal papers from the Rex vs Pollitt libel case, 1927

1927 年 11 月から 12 月にかけて 11 日間にわたって行われた「Rex 対 Pollitt」名誉毀損裁判の法廷文書。National Minority Movement のメンバーであるポリット、Strudwick、Beech が被告となり、原告はソ連で 3 年間働いた後に投獄・国外追放された元船員の David Scott でした。被告側は、Scott がソ連での体験を公表した後、彼の信用を傷つけるような名誉毀損記事を公表したとして告発されました。裁判の結果、被告側は有罪となり、ポリットは訴訟費用および 100 ポンドの支払いを命じられました。



30. Papers from the bankruptcy case of Thomas Robert Strudwick, 1929

1927 年の David Scott 名誉毀損裁判で科された 50 ポンドの罰金が原因で発生した Strudwick の破産裁判の文書。

31. Papers from the bankruptcy case of Richard Clyde Beech, 1929

1927年のDavid Scott名譽毀損裁判で科された50ポンドの罰金が原因で発生したBeechの破産裁判の文書。

32. Papers from the Pollitt's trial for sedition, 1934

ポリットがウェールズでの演説により扇動罪で起訴された裁判の資料。ポリットは勝訴し、無罪となった。

33. Pollitt in print media, 1930-1956

ポリットの人生と活動、ならびに共産主義運動全般について報じられた様々な新聞記事のスラップを収録。

34. The death of Harry Pollitt, 1960-1970

ポリットの死に関連する様々な資料を収録。

35. Research material on Pollitt collected by John Mahon, 1948-1977

共産主義活動家John Mahonが収集したハリー・ポリットの人生と時代に関する個人文書の選集。Mahonは1920年のイギリス共産党(CPGB)創設メンバーの一人であり、晩年にはポリットの伝記を執筆していました。その過程で、本ファイルに収録された資料を収集しました。

36. Material from the trial of the Communist Party of the United States, 1948-1951

スミス法(Smith Act)違反の疑いで起訴されたアメリカ共産党(CPUSA)の指導者12人に関する裁判資料。この裁判では、11人が有罪判決を受け、最低5年の懲役刑を言い渡されました。

37. Correspondence between the CPGB and Labour Party National Executive Committee, 1933-1936

イギリス共産党とNational Executive Committeeとの書簡。両党が「統一戦線」を構築する可能性について議論した内容が含まれています。

38. Correspondence between the CPGB and Trade Union Congress, 1933-1934

ナチス・ドイツのオーストリア併合(アンシュルス)を受け、イギリス国内で「統一戦線」を構築する必要性について議論した書簡を収録。

39. Correspondence between the CPGB and Co-operative Party, 1933-1936

ナチス・ドイツのオーストリア併合を受け、協同組合党に「統一戦線」の形成を呼びかけた書簡を収録。協同組合党はこの提案を拒否しました。

40. Correspondence between the CPGB and labour movement organisations, 1933-1934

各種労働運動組織と交わされた書簡。ファシズムに対抗する「統一戦線」を構築する試みが記録されています。

41. Correspondence between the CPGB and Socialist League, 1933-1936

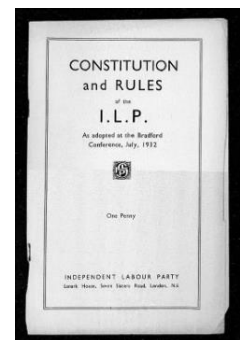
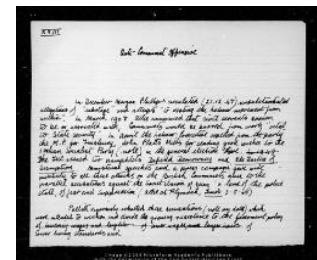
イギリスおよびヨーロッパにおけるファシズムに対抗する「統一戦線」に参加するよう、Socialist Leagueに呼びかけた書簡を収録。

42. Material related to the Independent Labour Party, 1932-1935

イギリス共産党が緊密に連携していた独立労働党(Independent Labour Party)に関する資料。

43. Correspondence between the CPGB and Independent Labour Party, 1933-1936

1930年代におけるイギリス共産党と独立労働党(ILP)間の書簡を収録。主に、労働者階級の利益を守るため、左派諸組織による「統一戦線」を構築しようとするCPGBの試みに関する内容が含まれています。ILPは1931年に労働党から離脱し、「統一戦線」が議論されていた時期までに、終末的な衰退状態にありました。



44. Further material related to the 'United Front' (i), c. 1930s

イギリス共産党(CPGB)がファシズムに対抗する「統一戦線」を築こうとした試みに関する追加資料。

45. Further material related to the 'United Front' (ii), 1933-1947

イギリス共産党(CPGB)がファシズムに対抗する「統一戦線」を築こうとした試みに関するさらなる資料。

46. Pollitt's medical records from the Soviet Union, 1954

1950年代にポリットがソビエト連邦で受けた治療に関する各種記録。

47. Material from Germany documenting the rise of fascism, 1931-1933

ヒトラーが首相になるまでの数年間における、ドイツでのファシズムの台頭に関連する資料。

48. Miscellaneous notes relating to Pollitt, 1915-1956

「インドへの旅」の日記、労働組合会議(TUC)の議会議題、朝鮮戦争に関する印刷メディアの記事、外交問題に関する記事、数学の方程式、1951年の総選挙に関するファイル、ドイツでのThaelmanの抑留に関する記事、Young Communist Leagueについてのポリットの演説、ポリットの写真の小コレクションを収録。

49. Material from post-war Poland, c. 1950s

共産主義政権成立後の戦後ポーランドに関する雑多な資料。

50. Parliamentary and local government files, 1943

第二次世界大戦中のイギリスの議会および地方自治に関する各種資料。

51. Material from the World Federation of Trade Unions, 1953-1954

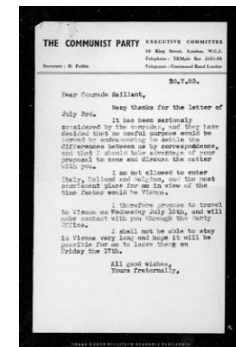
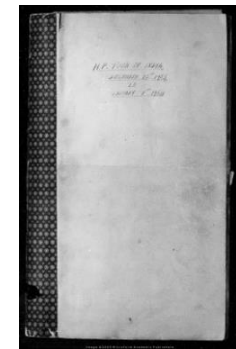
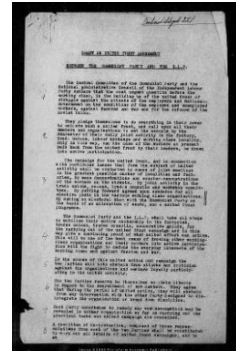
世界労働組合連盟(WFTU)は、1945年にソ連が主導して設立した国際的な労働組合の連携組織で、その活動に関する資料。

52. Material related to court cases involving Pollitt, 1925-1941

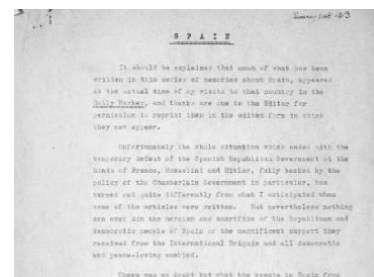
ポリットが関与した扇動罪、反乱罪、名誉毀損に関する2つの異なる裁判の資料。

53. Material on electoral reform, 1943-1944

イギリス共産党(CPGB)が提案したイギリスの選挙制度改革に関する資料。



■BOAのご利用で日本国内に居ながら原資料を閲覧することが可能になります
印刷やダウンロードも可能なため、原資料へのメモやコメントの書き込みや
線を引いたり、付箋を貼るなど柔軟な活用ができます。



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで

 **日本総代理店 極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp